



# 当社概要のご紹介

2021年3月  
石油資源開発株式会社  
(東証第一部：証券コード1662)



# 本日のご説明内容

---

**I. 会社概要**

**II. 中期事業計画・強み**

**III. 業績・株主還元**

# 本日のご説明内容

---

**I. 会社概要**

II. 中期事業計画・強み

III. 業績・株主還元

## 会社概要

社名	石油資源開発株式会社 Japan Petroleum Exploration Co., Ltd. (略称：JAPEX)
創立	1955年
本社所在地	東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 藤田 昌宏
資本金	14,288百万円
従業員数	1,739名（連結、2020年3月末時点）
グループ会社	連結子会社23社、関連会社19社
事業内容	石油、天然ガスおよびその他のエネルギー資源の探鉱、開発、生産、販売とこれらに関連する掘削などの請負事業、電気の供給事業ほか

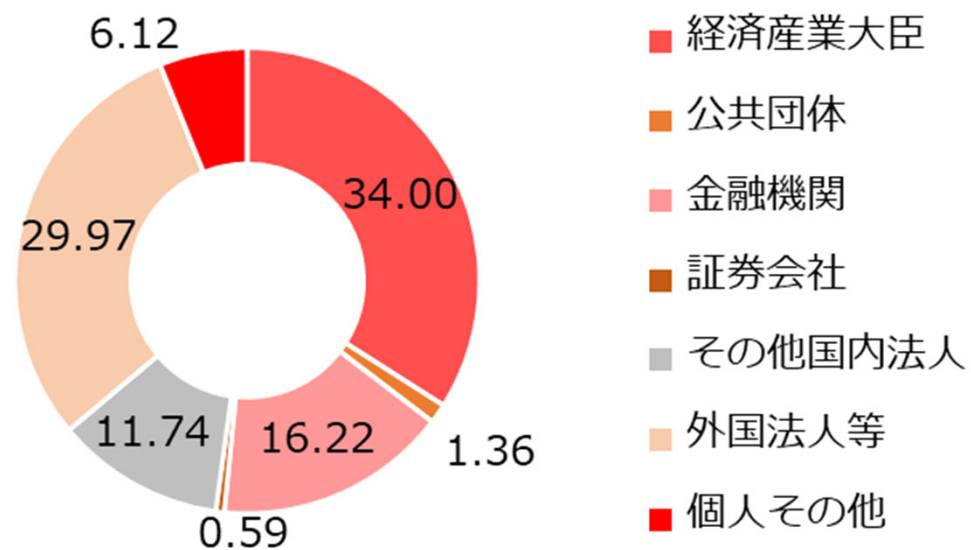
### ■ JAPEXの歩み



## 株式の状況

上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード1662）
上場	2003年12月
業種	鉱業
発行済株式の総数	57,154,776株
株主数	10,874名（2020年3月末時点）

所有者別株式分布状況（%）



## 経営理念

**私たちは、エネルギーの安定供給を通じた社会貢献を  
使命とするとともに、持続可能な開発目標の実現に向けた  
社会的課題の解決に取り組みます。**

- 国内外において、石油・天然ガスの探鉱・開発・生産・販売に取り組みます。
- 当社国内インフラ基盤を活用したガスサプライチェーンを、電力供給を加えてさらに強化します。
- 当社の技術と知見を活かした新技術開発と事業化を通じて、エネルギーや気候変動に係る持続可能な社会への課題解決に貢献します。
- すべてのステークホルダーとの信頼を最優先とし、企業としての持続的な発展と企業価値の最大化を図ります。





## 事業区分と売上構成

原油、希釈ビチューメン販売等によるE&Pが過半。2020年度以降は電力販売の拡大により非E&Pの売上高が拡大

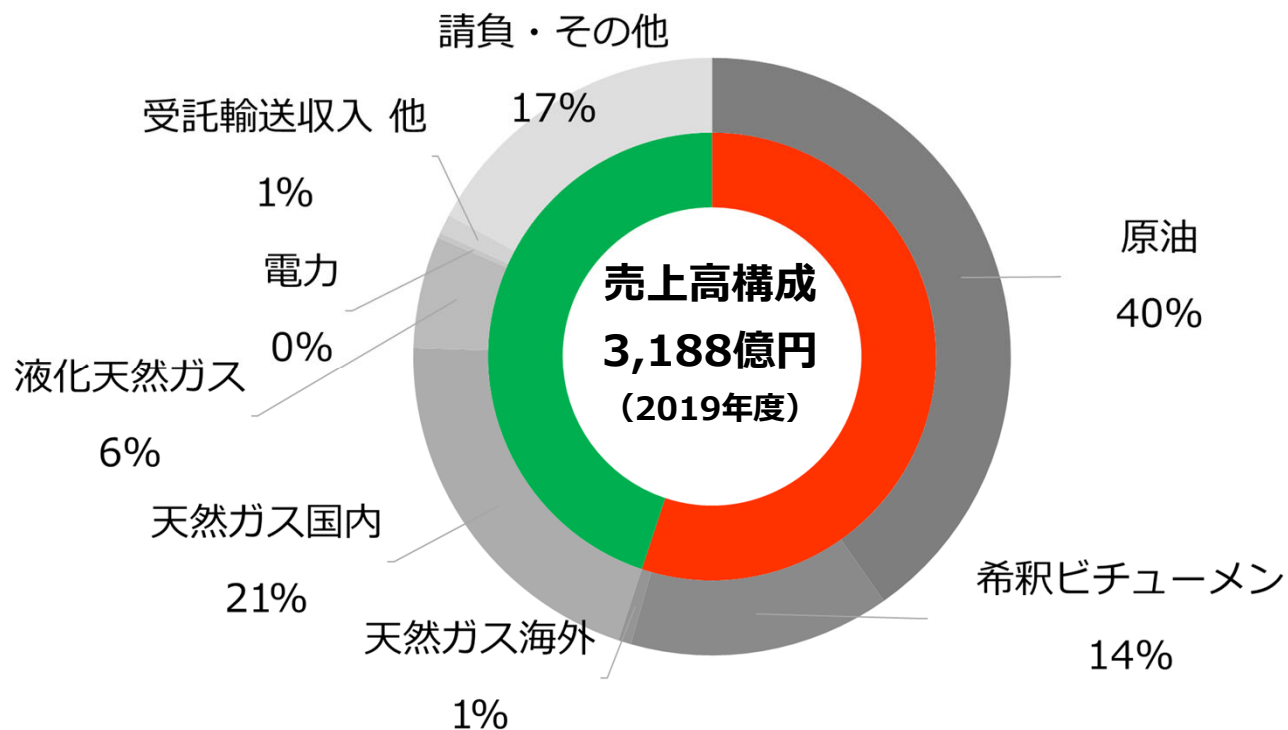
### 非E&P事業（1,433億円、45%）

インフラ・ユーティリティ事業ほか

- ・ 国内天然ガス供給
- ・ 天然ガス火力発電
- ・ 再生可能エネルギー開発

### E&P事業（1,754億円、55%）

- ・ 石油、天然ガスの探鉱・開発・生産（Exploration & Production）



# 本日のご説明内容

---

I. 会社概要

II. 中期事業計画・強み

III. 業績・株主還元



# 長期ビジョン・中期事業計画

資源価格の変動による不確実性や低炭素社会へ対応するため、環境配慮型新規事業の創出による事業構造の変革と持続的成長が可能な事業ポートフォリオを目指す

## ■ 長期ビジョン2030

「石油・天然ガスE&Pとその供給事業基盤を活かした総合エネルギー企業への成長」

2030年に目指す利益構成

E&P事業 : 非E&P事業 = 6 : 4

## ■ 中期事業計画2018-2022

2022年度の目標 : ROE $\geq$ 5%への改善  
(油価 USドル60/bbl前提)

## ■ 各事業の長期目標

E&P事業

RRR<sup>\*2</sup> > 1 の維持

インフラ・  
ユーティリティ事業

低環境負荷エネルギーの推進

新規事業

環境配慮型事業の創出

2030年の全社利益<sup>\*1</sup>構成比率



\*1 営業利益+持分法投資利益ベース

\*2 RRR : Reserve Replacement Ratioとは、企業がその有する埋蔵量から単年度（または特定期間）に生産した石油ガスを回復し、翌年度以降も問題なく生産を継続できるかを示す数値

# 2022年度に向けた資金配分

既存事業の収益維持や改善への投資と、新規案件への成長投資を予定

## ■ 2019年度から2022年度の資金配分

- 既存プロジェクト投資： 約600億円
- 借入金返済等： 約550億円
- 成長投資： 約650億円
- 株主還元： 約90億円+a

## ■ 2022年度目標

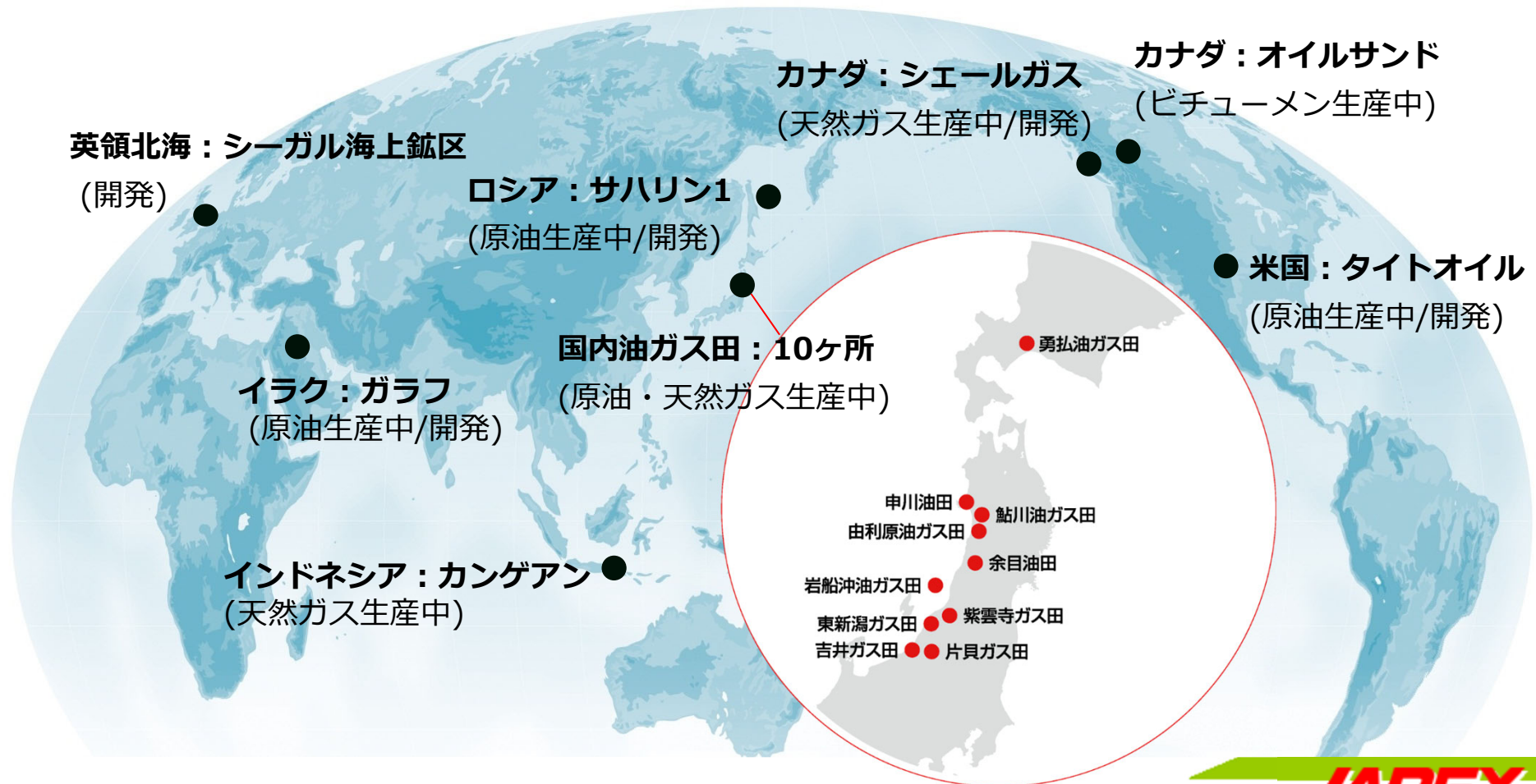
- 有利子負債残高\*を約1,000億円～1,200億円程度まで圧縮（2018年度末残高：約1,500億円）
- 「有利子負債/EBITDA<2」を維持しつつ、成長投資を促進
- 中長期的には更なる株主還元の拡充を目指す

\*有利子負債は、リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務を含む

# E&P事業

強み：石油・天然ガスの開発・生産全般にわたる総合技術力、非在来型資源開発を含む幅広い技術と知見

## ■ JAPEXが参画する主な鉱区



# インフラ・ユーティリティ事業

**強み：国内インフラ基盤と輸送手段を組み合わせた当社独自の国内天然ガスサプライチェーン、事故や災害のない操業体制**

## ■ 国内天然ガス供給

- 自社の国内天然ガス供給ネットワークを用いた、国産天然ガスとLNGの一体供給
- 福島天然ガス発電所\*の発電燃料LNGに関する受託業務（受入、貯蔵、気化と発電所への送出）

## ■ 天然ガス火力発電

- 福島天然ガス発電所が2020年度に全面営業運転開始

## ■ 再生可能エネルギー開発

- 北海道メガソーラー2か所の運用
- 大型洋上風力やバイオマスを中心に、開発案件や事業参画機会を検討



\*当社を含む民間5社が事業パートナーとして出資する福島ガス発電(株) (当社出資比率33%) が運用管理を実施

# 新規事業

当社のE&P技術と国内の天然ガス供給インフラを活用した環境配慮型新規事業創出をめざす

## ■ 次世代技術開発

### メタンハイドレート開発技術

- ・ 砂層型メタンハイドレート海洋生産試験などへ、日本メタンハイドレート調査(株)の一員として参画

### 海洋鉱物資源探査技術

- ・ 内閣府・戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第2期"革新的深海資源調査技術"に、次世代海洋資源調査技術研究組合 (J-MARES) の組合員として参画

## ■ 環境技術関連事業開発

### CCUS (二酸化炭素の回収・利用・貯留)

- ・ 日本CCS調査(株)の筆頭株主として苫小牧CCS実証試験へ参画
- ・ 二酸化炭素地中貯留技術研究組合の組合員として、NEDO「CCS研究開発・実証関連事業」の「安全なCCS実施のためのCO<sub>2</sub>貯留技術の研究開発事業」へ参画

### 水素、カーボンリサイクルなどの環境技術を活用した新たな事業検討

- ・ 環境技術関連の事業創出専任部門「環境事業推進部」を設置

## ■ 周辺分野などでの新規事業開発

- ・ LNGバンカリングの事業参入機会を模索
- ・ LNGを燃料とするトラック導入検討
- ・ 使用済み食用油原料の次世代航空機燃料 (SAF\*) 国内サプライチェーン構築



苫小牧実証プロジェクト地上設備  
写真提供：日本CCS調査(株)

\*SAF: Sustainable Aviation Fuel 持続可能な航空燃料



# 新規事業 CCUS

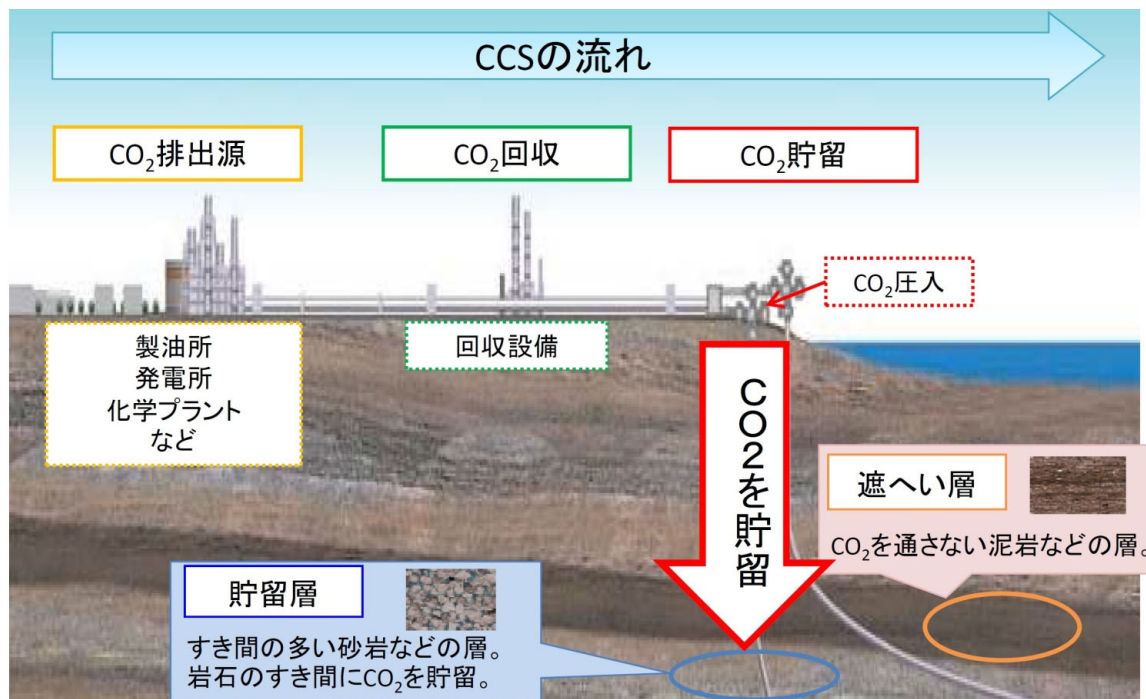
CO<sub>2</sub>削減目標達成には、様々な方法の組み合わせや技術革新が必要で、特にCCUSがカギ。  
CCUSの実用化において、当社はCO<sub>2</sub>の地中貯留に関する専門技術を保有

## ■ CCS大規模実証試験とカーボンリサイクルへの展開等

日本CCS調査（株）の一員として、①苫小牧におけるCCS大規模実証試験、②全国貯留適地調査を実施中  
①は、圧入したCO<sub>2</sub>のモニタリング、CO<sub>2</sub>の長距離輸送手段の確立、回収したCO<sub>2</sub>の再利用の実現可能性調査など

## ■ 安全なCCS実施のためのCO<sub>2</sub>貯留技術の研究開発

①安全性確保のための最適なモニタリング技術・手法の開発（例：光ファイバー等を用いたモニタリング技術）  
②効率的なCO<sub>2</sub>貯留のための技術・手法の開発（例：マイクロバブルを用いたCO<sub>2</sub>溶解促進技術）



## CCUSとは

C : Carbon dioxide (二酸化炭素)

C : Capture (分離回収)

U : Utilization (利用、リサイクル)

S : Storage (地中貯留)

出典：経済産業省資源エネルギー庁ウェブサイト  
<https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteiky/ccus.html>

# 社会的課題の解決に向けた施策

低炭素社会における持続的な成長を念頭に長期ビジョンに掲げる「総合エネルギー企業への成長」の実現を目指す

## ■ 2020年度のESG施策の主な進捗

E	低炭素化への貢献	✓ 経済産業省「ゼロエミ・チャレンジ企業」にリストアップ
	エネルギーの安定供給	✓ [コロナ対応] 相馬LNG基地における非接触荷役対応
S	魅力ある職場づくり	✓ [コロナ対応] 「新しい生活様式」に対応する勤務形態の試行・拡大 ✓ 「JAPEX健康経営宣言」の制定
	経営体制強化	✓ 社外取締役増員、取締役任期短縮、役員報酬制度改定
G	ガバナンス強化	✓ 「国連グローバル・コンパクト」へ参加
	リスクマネジメント	✓ [コロナ対応] コロナ禍での事業継続体制の構築・運用



# 本日のご説明内容

---

I. 会社概要

II. 中期事業計画・強み

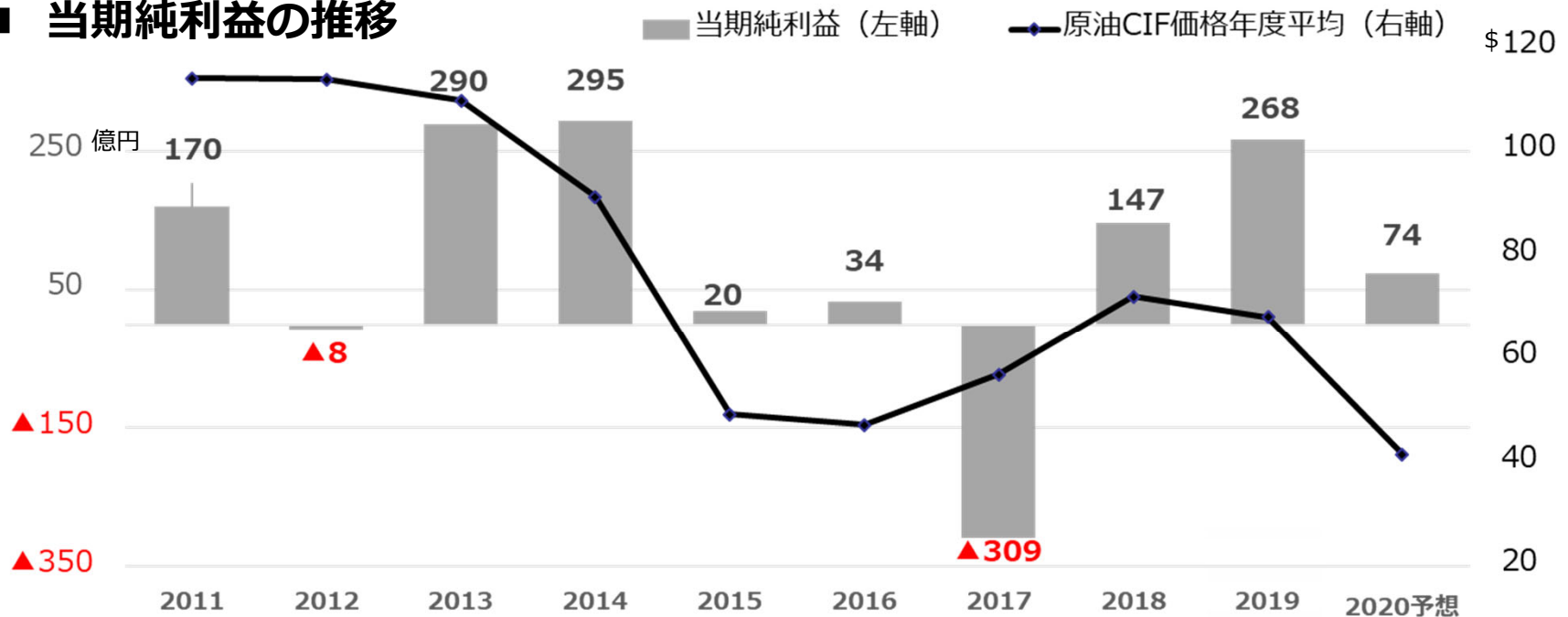
III. 業績・株主還元

# 連結業績の推移

## ■ 2020年度 通期業績予想（前期比）

単位：億円	2019年度実績	2月8日公表2020年度予想
売上高	3,188	2,278
営業利益	142	51
経常利益	326	91
親会社株主に帰属する当期純利益	268	74

## ■ 当期純利益の推移

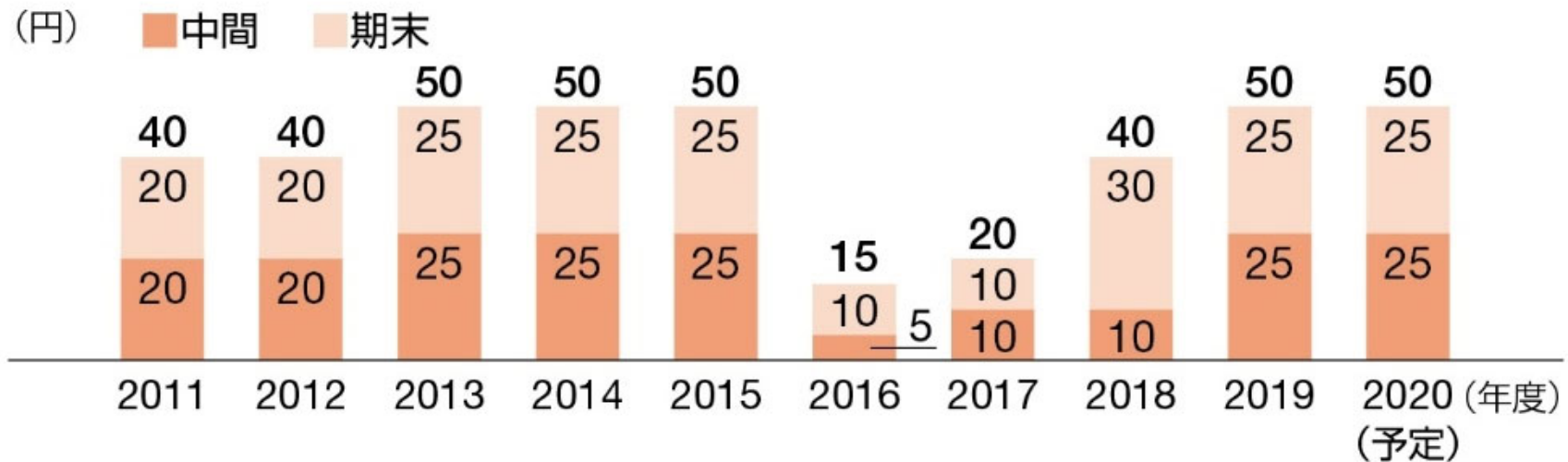


# 株主還元方針

## ■ 配当方針の考え方について

- 基本方針は長期安定配当の継続
- 具体的な配当金の額については、中長期的な経営環境の見通しの下、国内外の新規埋蔵量の確保を目指した投資並びに供給インフラの整備・拡充等に向けた内部留保を考慮しつつ、各期の利益状況や今後の資金需要等を総合的に勘案して設定

## ■ 1株当たり年間配当金



## 〈参考資料〉 略語集

### ■用語

BOE(D)	Barrels of Oil Equivalent (per Day)	石油換算バーレル (日量)
CCS	Carbon dioxide Capture and Storage	二酸化炭素回収・貯留
CCUS	Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage	二酸化炭素回収・活用・貯留
CIF	Cost, Insurance and Freight	運賃、保険料込条件
FID	Final Investment Decision	最終投資意思決定
GHG	Greenhouse Gas	温室効果ガス
HSE	Health, Safety and Environment	労働安全衛生・環境
JCC	Japan Crude Cocktail	全日本平均原油輸入CIF価格
MH	Methane Hydrate	メタンハイドレート
RRR	Reserve Replacement Ratio	埋蔵量置換率
SAF	Sustainable Aviation Fuel	持続可能な航空燃料
WTI	West Texas Intermediate	ウェスト・テキサス・インターミディエイト原油

### ■主要な子会社・持分法適用会社

JACOS	Japex Canada Oil Sands Limited	カナダ・オイルサンドプロジェクト
Jガラフ	(株)ジャペックスガラフ	イラク・ガラフプロジェクト
JML	JAPEX Montney Ltd.	カナダ・シェールガスプロジェクト
SODECO	Sakhalin Oil & Gas Development Co., Ltd.	ロシア・サハリン1プロジェクト
EMPI	Energi Mega Pratama Inc.	インドネシア・カンゲアンプロジェクト
DGN	Diamond Gas Netherlands B.V.	マレーシアLNG ティガプロジェクト
FGP	福島ガス発電 (株)	天然ガス火力発電事業

## 〈参考資料〉 IR情報発信

### ■ JAPEXメールマガジン

<https://www.japex.co.jp/mailmag/>  
当社ウェブサイトへの新しい公表資料の登録時や掲載コンテンツの更新時などにタイムリーにその情報をお知らせしています。



### ■ コーポレートウェブサイト「IR情報」

<https://www.japex.co.jp/ir/>



### ■ コーポレートレポート (統合報告書)

[https://www.japex.co.jp/ir/pdfdocs/library/JAPEX\\_CR2020main\\_spread\\_j.pdf](https://www.japex.co.jp/ir/pdfdocs/library/JAPEX_CR2020main_spread_j.pdf)





## 石油資源開発株式会社

- 本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績はさまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。
- 本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright : 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。

事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

**本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。**

**石油資源開発株式会社 コーポレートコミュニケーション室 電話03-6268-7111**